

# 令和6年度 職員による学校評価

大謝名小学校

【評定 A:十分達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった】

項目	番号	評価の観点	評定								
			A		B		C		D		
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
教育課程 学習指導	1	教育目標達成のために教科・領域での具体的な実践が図られている。	2	8.7	21	91.3	0	0.0	0	0.0	3.1
	2	標準授業時数を確保することができている。	15	65.2	8	34.8	0	0.0	0	0.0	3.7
	3	週時程や週の計画は、適切に編成され、実施することができている。	9	39.1	14	60.9	0	0.0	0	0.0	3.4
	4	週案によるきめ細かな計画で、見通しのある授業を心がけている。	6	26.1	17	73.9	0	0.0	0	0.0	3.3
	5	新教職員評価システム育成評価記録書（補充教諭は学級経営案）等で、明確な自己目標を設定し目標達成に努めている。	6	26.1	14	60.9	3	13.0	0	0.0	3.1
「確かな学力」の育成	6	「学力推進プロジェクト」及び「ぎのわんスタンダード」を踏まえ、「大謝名スタンダード」を目指す授業改善を行っている。	2	8.7	19	82.6	2	8.7	0	0.0	3.0
	7	「全国学力・学習状況調査」や「県学力到達度調査」「単元テスト」の結果を踏まえ、個に応じた指導に努めている。	4	17.4	15	65.2	4	17.4	0	0.0	3.0
	8	チャイムとともに、授業開始の黙想をはじめ、チャイムとともに授業を終了している。	10	43.5	10	43.5	3	13.0	0	0.0	3.3
	9	家庭学習年間の数値目標に達する見通しを持ち、毎月の優秀者を決め、意欲向上に努めている。	8	34.8	12	52.2	3	13.0	0	0.0	3.2
	10	I C T 機器等を活用した授業の工夫に努めている。	7	30.4	13	56.5	3	13.0	0	0.0	3.2
「豊かな心」の育成	11	英語科にH R T が積極的に関わり、校内英語指導法の工夫改善が効果を上げている。	5	21.7	16	69.6	2	8.7	0	0.0	3.1
	12	道徳的価値に迫る読み物の活用、問題解決的な学習・体験的な学習等、多様な指導方法を取り入れた授業に努めている。	3	13.0	15	65.2	5	21.7	0	0.0	2.9
	13	新学習指導要領を見据え、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める授業に努めている。	1	4.3	18	78.3	4	17.4	0	0.0	2.9
	14	生徒指導体制・教育相談体制が確立され、全職員で児童理解における課題の共有がなされ、その対応策が具現化されている。	3	13.0	9	39.1	11	47.8	0	0.0	2.7
	15	不登校児童「ゼロ」を目指した取り組みに努めている。	4	17.4	11	47.8	7	30.4	1	4.3	2.8
	16	大謝名小いじめ防止基本方針を参考に、いじめ未然防止に努めている。	5	21.7	16	69.6	2	8.7	0	0.0	3.1
	17	真志喜中校区幼小中連携や「大謝名スタイル」共通実践5項目の指導が徹底されている。	4	17.4	15	65.2	4	17.4	0	0.0	3.0
「健やかな体」の育成	18	教科（体育）、体育的行事、一校一運動（なわとび）を通して、体力の向上に努めている。	6	26.1	11	47.8	6	26.1	0	0.0	3.0
	19	校内の遊具等については、安全管理の徹底と有効活用を努めている。	7	30.4	10	43.5	5	21.7	1	4.3	3.0
	20	避難訓練を通して、危機予知能力・危機回避能力の育成に努めている。	10	43.5	13	56.5	0	0.0	0	0.0	3.4
	21	学年・学級の取り組みとして、むし歯治療の推進に努めている。	2	8.7	12	52.2	9	39.1	0	0.0	2.7
学年・学級経営	22	学年の資料・記録を適切にまとめ、次年度へのたすきつなぎとなる記録簿、電子データとして整理している。	6	26.1	15	65.2	2	8.7	0	0.0	3.2
	23	学習環境が整備され、潤いのある教室環境づくりに努めている。	5	21.7	15	65.2	3	13.0	0	0.0	3.1
特別活動 キャリア教育	24	学級活動は、年間指導計画に沿って計画的に行なうことができている。	4	17.4	14	60.9	5	21.7	0	0.0	3.0
	25	係や当番活動、朝のクリーン活動等の積極的指導を通して、勤労観の育成に努めている。	6	26.1	14	60.9	3	13.0	0	0.0	3.1
	26	教育活動全体を通じて、学年の発達の段階に応じた「児童の夢や希望を育む授業」を行っている。	4	17.4	16	69.6	3	13.0	0	0.0	3.0
特別支援教育	27	個別の支援計画に基づいた個々のニーズに応じたきめ細かい指導を行っている。	5	21.7	15	65.2	3	13.0	0	0.0	3.1
	28	特別支援コーディネーターを中心に関係機関との連携を図っている。	4	17.4	15	65.2	4	17.4	0	0.0	3.0
組織運営	29	報・連・相・確の手順がふまれ、教育活動が円滑に行なわれている。	2	8.7	17	73.9	4	17.4	0	0.0	2.9
	30	校務分掌の明確な運営・責任体制が整備され機能している。	5	21.7	18	78.3	0	0.0	0	0.0	3.2
	31	各主任はリーダーシップを発揮し、主任として校務の処理にあたっている。	6	26.1	15	65.2	2	8.7	0	0.0	3.2
	32	職員会議、運営委員会、各部会、職員朝会は効率的に行なわれている。	5	21.7	16	69.6	2	8.7	0	0.0	3.1
施設・設備・備品	33	施設・設備等、毎月の安全点検が確実になされ、改善が図られている。	12	52.2	11	47.8	0	0.0	0	0.0	3.5
	34	備品の管理・点検・保管事務を適切に行っている。	6	26.1	17	73.9	0	0.0	0	0.0	3.3
研修	35	本校の教育課題解決を目指す、校内研修の組織・推進体制の確立が図られている。	5	21.7	16	69.6	2	8.7	0	0.0	3.1
	36	教材研究等も含め、自己研鑽に努めている。	2	8.7	20	87.0	1	4.3	0	0.0	3.0
公文書 個人情報	37	文書の処理を適切に行い、教育活動をスムーズに行っている。	3	13.0	18	78.3	2	8.7	0	0.0	3.0
	38	学校が保有する個人情報や各種文書等の情報を適切に管理している。	10	43.5	13	56.5	0	0.0	0	0.0	3.4
保護者 地域連携	39	学校説明会を開催し、家庭・地域への情報提供を行い、理解と協力を得る体制をつくっている。	6	26.1	16	69.6	1	4.3	0	0.0	3.2
	40	学校支援ボランティアを活用し教育活動を進めている。	3	13.0	6	26.1	12	52.2	2	8.7	2.4
サービス	41	教職員として職責の重さを自覚し、公私にわたり、公務員としての服務規律の遵守に努めている。	14	60.9	9	39.1	0	0.0	0	0.0	3.6
働き方改革	42	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	5	21.7	16	69.6	2	8.7	0	0.0	3.1
	43	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている。	3	13.0	7	30.4	13	56.5	0	0.0	2.6
	44	一人一人の児童との信頼関係を深めることができている。	4	17.4	18	78.3	1	4.3	0	0.0	3.1
	45	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3	13.0	13	56.5	7	30.4	0	0.0	2.8
	46	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	4	17.4	17	73.9	2	8.7	0	0.0	3.1
	47	長時間勤務の改善が図られている。	2	8.7	17	73.9	4	17.4	0	0.0	2.9